

*Clostridium difficile*  
(クロストリジウム・ディフィシル)  
に対する消毒方法

手指消毒

セミクリティカル器具消毒

ノンクリティカル器具消毒

# 芽胞は熱に抵抗性 消毒薬に抵抗性!!

- 100°Cで不活性化できない
- 低水準消毒薬は無効
- 中水準消毒薬は有効でない(一部有効)

# 手指消毒

- 芽胞を形成するため、通常の手指消毒薬は効果が期待できない
- アルコールを含む速乾性擦式消毒薬も効果が期待できない
- 液体石けん等で洗い流すことが必要
- 特に、糞便を介した接触感染のため、これらを扱った後には液体石けんで手洗いを行うことが重要
- 手袋を着用していても手洗いは必要



# 消毒薬と石けんでの比較

手指に 6.7 log CFU の *Clostridium difficile* 塗布

---

## 残存菌数

---

4%クロルヘキシジン  
スクラブ+流水

2.5log CFU/cm<sup>2</sup>

有意差なし

非抗菌石けん  
+流水

2.4log CFU/cm<sup>2</sup>

---

(10秒泡立て、5秒流す)

Bettink K et al: Inf Cont Hosp Epidemiol 1994.

# スクラブ用消毒薬と速乾性手指消毒薬との比較

手指に  $5 \times 10^5$  CFU/hand の *Clostridium difficile* 塗布

---

スクラブ用消毒薬

2.5log CFU減少

速乾性手指消毒薬

1.7~1.9log CFU減少

---

# セミクリティカル器具の消毒

## ■ 有効な消毒薬

0.3w/v%過酢酸

2w/v%グルタラール

次亜塩素酸ナトリウム 0.1%:1000ppm

～ 0.5%:5000ppm



- 高水準消毒薬の中には一定時間以上の浸漬により消毒効果が期待できる製品もあるが、詳細は各製品情報に従い取り扱うこと

# ハンクリティカル器具

- 十分な洗浄
- 特別な場合は、次亜塩素酸ナトリウム  
0.1%(1000ppm)～0.5%(5000ppm)

但し、金属への適用は腐食作用を考慮する  
(特に0.5%以上の場合)



# 次亜塩素酸ナトリウムの希釈液

水を加え全量3ℓ にするために必要な原液量

0.02%(200ppm) にする場合	1%原液	60mL
	6%原液	10mL
	12%原液	5mL
0.1%(1000ppm) にする場合	1%原液	300mL
	6%原液	50mL
	12%原液	25mL
0.5%(5000ppm) にする場合	1%原液	1500mL
	6%原液	250mL
	12%原液	125mL

希釈したら早めに使用！

